

国立国語研究所学術情報リポジトリ

'Don't Say "Roger".' 'Roger-desu!'

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高橋, 圭子, 東泉, 裕子, 佐藤, 万里, TAKAHASHI, Keiko, SATO, Mari メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001638

「『了解』は使わないように」「了解です！」

高橋圭子・東泉裕子・佐藤万里（フリーランス）

‘Don’t Say “Roger”.’ ‘Roger-desu!’

Keiko Takahashi, Yuko Higashiizumi, Mari Sato (freelancers)

要旨

近年、ビジネスマナーに関する書籍やウェブ上において、「了解」は上から目線の言葉で失礼なので使わないほうがよい、とする記述が少なからず見られる。本発表では、各種コーパスの用例、辞書やマナー本の記述などを調査し、(1)応答詞としての「了解」とその派生形式、(2)「了解は失礼」説、のそれぞれについて、出現と広がりを探る。

1. はじめに

現代日本語においては、情報伝達や指示・依頼などへの応答として、「了解」という語が使われることがある。例えば、『現代日本語書き言葉均衡コーパス (Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese: BCCWJ)』においては、次のような用例がある¹。

- (1) 「おい、来たぞ。門を開けてやれ」彼は下にいる同僚にハンディ・トーキーで呼び掛けた。「了解。でも八分の遅刻で助かったな。これが三十分も遅れたりしたら…」ハンディ・トーキーから声が返った。下もやきもきしていたのだろう。

【出典】 BCCWJ サンプル ID : LBb9_00066 図書館・書籍
中島渉(著) 『サザンクロス流れて』 1987 年

- (2) 「(略)ここから先の事務的な手続については、労務部と直に詰めて貰いたい」小暮は素っ気なく答えた。確かに後任の人事、ワーキング・ビザの取得、引き継ぎ事務などを考えれば、事はそう簡単に運ばない。「了解しました、本日は、恩地前委員長の帰国をご確約下さり、有難うございました」沢泉は、恩地の帰国が記録に残るように、重ねて云った。

【出典】 BCCWJ サンプル ID : OB5X_00112 特定目的・ベストセラー
山崎豊子(著) 『沈まぬ太陽 2(アフリカ篇 下)』 1999 年

- (3) 「そうか・・・惑星、あんまり無茶するなよ！」「了解です！」俺は興奮する気持ちと焦る気持ちを抑えながら冷静に走ることを心がけた。

【出典】 BCCWJ サンプル ID : OY14_44275 特定目的・ブログ 2008 年

本発表では、これらを「了解」の応答詞用法と呼ぶ。詳細は後述するが、BCCWJ その他のコーパスには、「了解」の応答詞用法の形式として「了解」「了解した」「了解しました」「了解いたしました」「了解です」などが認められる。

一方、ビジネスマナーに関する書籍やウェブにおいては、「了解」は失礼なので使わないほうがよい、と記述するものがある。例えば、次のようなものである。

¹ 以下、『BCCWJ』の用例には、順に、サンプル ID、レジスター、著者（書籍）、書名、出版年を記す。また、下線は発表者による。

- (4) 「了解しました」はビジネス上あまりよくありません。誤解されがちですが,“了解”は敬語ではありません。ていねいな意味は含まれていないので気をつけましょう。(野村 2011, p.49)
- (5) 「了解」には「理解して承認すること」という意味もあります。「承認」には上から下という印象があるため,人によっては「了解しました」に違和感を持つ人もいます。(梅津 2013, p.36)
- (6) 決して相手を傷つけたり,不愉快な思いをさせようとして使った言葉じゃないのに,結果として失礼になってしまった。こんな悲劇を防ぐためにも,言っている言葉,言っている言葉について勉強しておきましょう。

■上司から指示や命令を受けたとき

上司から「これやっという」などと指示や命令を受けたとき,なんと言って返事してますか?ありがちなのが「分かりました」「了解です」の言葉です。

何がいけないの?ちゃんと「分かった」と返事してるじゃない?と思うかもしれませんが,実はこれらは同僚や部下に対して使う丁寧語。上司に対して使ってしまうと失礼に当たるのです。正解は「かしこまりました」「承知致しました」という謙譲語なので,間違えないようにしましょう。

【出典】<http://news.livedoor.com/article/detail/7986822/> 2013 年

本発表では,このような見方を「了解は失礼」説と呼ぶ。他方,これに異を唱える論もある。例えば,飯間(2016)は(7)のように述べている。

- (7) 「了解いたしました」は失礼なことばではない
「了解」ということばは失礼である——と言われるようになったのは,ここ 10 年ほどのことです。誤解に基づくのですが,日本語関係の一般書で無責任にそう説明するものが増えました。もともと,人に分かったと意思表示をするときには,「言われなくても分かってるよ」というような語感が伴いやすい。そこで,なるべく丁寧な,へりくだった表現が必要です。(略)「了解」は,「分かる」の漢語表現にすぎず,特に敬意はありません。「了解しました」は「分かりました」とほぼ同等で,もう少し敬意がほしいのは確か。「了解です」だけなら,なるほど失礼です。これは「納得です」「承知です」などがぞんざいなと同様です。しかしながら,丁寧かつへりくだった「いたしました」をつけて「了解いたしました」と言えば,何ら失礼ではなく,敬語として十分です。(略)

【出典】https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/status/741895366618927104/photo/1/ 2016 年

本発表では,コーパス,辞書,書籍などを調査し,「了解」の応答詞用法,「了解は失礼」説およびそれに対する反論について,出現と広がりの様相を明らかにすることを目指す。

2. 先行研究

「了解」の語義については,中山(2013, 2014)が,『太陽』『新潮文庫の 100 冊』『現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)』の各コーパスを用いて,明治期の「理解」から現代の「理解+承認」という意味に変化してきたこと,「了解」には「諒解」「領解」「領会」という表記もあるが意味の相違には関わらないこと,などを明らかにしている。本発表も中山に従い表記の相違は不問とする。ただし,中山の調査範囲では応答詞用法はごく少数である。

「了解」の応答詞用法については、後述の(8c)にも指摘のあるように、無線通信の用語に関わる。無線通信においては、「受信した (Received)」「受領 (Reception)」を表す“R”の音標アルファベット(phonetic alphabet)²として“Roger”が用いられており、日本語ではこれに「了解」が当てられている。これは、『電波法無線局運用規則』(1950年11月30日電波管理委員会規則第17号)第十四条の規定する別表第四号にも記載されている³。

「了解は失礼」説については、国立国語研究所 HP「よくある『ことば』の質問」(2012)にも「『了解しました。』は敬意表現にならないか」という質問が寄せられている。その回答をまとめると(8)のようになる。

- (8) a. 「了」「解」とともに「よくわかる・さとり」という意味で、「了解」は類似の動詞を重ねた言葉である。待遇の要素は含まれていない。
- b. 日本語での漢語の用法には、短くてすむ、抽象度が増す、その場での「あらたまり」が増す、などという副次的効果がある。
- c. 電話や無線などの通信、業務でのやり取りなどで、相手の言ったことが分かった、という証拠に短く「了解」と返事をすればよい、という用法がある。
- d. 国語辞典の中には、相手からの指示・命令への返答としての使い方や、ぶっきらぼうで敬意が不足という注を記述しているものもある。
- e. 本来待遇の意味を含まない「了解しました」が「ぶっきらぼう」に感じられる理由は理屈ではっきりとは説明はつかない。おそらく無線通信や業務・作業の際の返答がなにかしら影響を及ぼしているかもしれない、といった程度で、明確には分らない。
- f. 「わかりました」「かしこまりました」「承りました」など、もっとふさわしい言葉がいろいろあるのだから、それに譲ればよいのではないか。

また、真鍋(2014)、菊池(2016)は「了解は失礼」説の出現時期を多くのマナー本やウェブ記事から検討している。真鍋(2014)の推定は2008年頃である。菊池(2016)は、2009～2010年頃のマナー本がきっかけとなり2011年頃からウェブ上で広がった、これはウェブメディアブームの時期であり、普通使われているこの言葉は実は間違いであるといった逆説的でアクセス数を集めやすい記事が量産された、その一つがこの「了解は失礼」説である、と推定している。

3. コーパスにおける「了解」の応答詞用法

表1は、各種コーパスにおける「了解」の応答詞用法を形式ごとにまとめたものである。コーパスの略称は次のとおりである。

- 【CHJ】：国立国語研究所『日本語歴史コーパス(Corpus of Historical Japanese)』
- 【BCCWJ】：国立国語研究所『現代書き言葉均衡コーパス(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese)』
- 【名大】：国立国語研究所『名大会話コーパス』
- 【青空】：国立国語研究所『青空文庫パッケージ』(20180401)

² 電話や無線通信で文字を伝えるときに聞き間違いを防ぐため使われる、各文字を示す単語。その一覧を音標コード(phonetic code)または通話表という。欧文では A, B, C にそれぞれ Alfa, Bravo, Charlie, などがあてられている。(JapanKnowledge 所収『デジタル大辞泉』より)

³ ただし、電波法の前身である『無線電信法』(1915年11月1日施行)には「了解」の語は見られない。

- 【新潮】：新潮社(1995)『新潮文庫の100冊』
- 【戦時】：現代日本語研究会(2004)『戦時中の話しことば』
- 【職場】：現代日本語研究会(2011)『女性の話しことば・男性の話しことば(職場編)』
- 【日常】：現代日本語研究会(2016)『日常会話の話しことば』

表1 各コーパスにおける「了解」の応答詞用法

コーパス	CHJ	青空	戦時	新潮	職場	名大	BCCWJ	日常
データ収録年代 ⁴	1874-1925	1891-1990	1936-1955	1894-1995	1993-2000	2001-2003	1976-2008	2011-2014
了解	0	7	0	2	1	3	116	0
了解した	0	1	0	0	0	0	12	0
了解しました	0	0	0	0	0	0	27	1
了解いたしました	0	0	0	0	0	0	5	0
了解です	0	0	0	0	0	0	13	0
了解だ	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	8	0	2	1	3	174	1

【CHJ】においては、「了解」436例のすべてが明治・大正(雑誌)であったが、応答詞用法は見出せなかった。また、戦時中のラジオドラマ台本をコーパス化した【戦時】においても、「了解」の応答詞用法はなかった。

今回の調査範囲における「了解」の応答詞用法の初出は、【青空】における海野十三「宇宙戦隊」(『海軍』1944年5月～1945年3月)の5例である。そのうち、はじめの2例を(9)、(10)に示す。

- (9) 「機長」帆村が上を向いて叫んだ。「おう」山岸中尉が答える。「高度二万メートルを突破しました」「はい、了解」

【出典】 青空 作品ID：3367 海野十三(著)「宇宙戦隊」1944～1945年

- (10) 高度を二万九千まであげてみたが、異変はさらに起らない。そこで望月大尉は、「高度二万八千に戻り、水平飛行で偵察を継続するぞ」と、山岸中尉に知らせた。「了解」

【出典】 青空 作品ID：3367 海野十三(著)「宇宙戦隊」1944～1945年

この2例の話し手はともに二号艇長の山岸中尉であり、聞き手は(9)は部下の帆村、(10)は一号艇長の望月大尉である。戦隊の上下の序列と関係なく、応答詞「了解」は用いられている⁵。

なお、海野十三(1897-1949)は『日本大百科全書』(JapanKnowledge 所収)によれば日本にお

⁴ 【青空】の底本初版発行年は1891-1990、入力に使用された版は1891-2002年である。また、【新潮】については、今後、雑誌初出年、単行本初版、文庫初版の各年を精査し、修正していく必要がある。

⁵ 【青空】における「了解」の応答詞用法は他に、江戸川乱歩「サーカスの怪人」(『少年クラブ』1957年)、江戸川乱歩「奇面城の秘密」(『少年クラブ』1958年1月号～12月号)に各1例がある。なお、「奇面城の秘密」における表記は「りょうかい」である。また、「了解した」1例は海野十三『海底都市』(日本正学館(冒険少年文庫)1948年)である。

ける SF の先駆者の一人であり,早稲田大学理工学部から通信省電気試験所勤務を経て作家生活に入ったという。

【新潮】においては「了解」104 例のうち応答詞用法は 2 例,井上ひさし(1970)『ブンとフン』および赤川次郎(1984)『女社長に乾杯!』各 1 例である。(11)は前者の例で,警察庁長官と手下の悪魔の会話である。

(11) 「ブンが,フン先生の家にあられたのだ。さ,はやく行け!」「わかってます。で,フン先生というひとの家の所番地は?」「市川市のはずれに下総の国分寺という有名なお寺がある。そのお寺の裏側の畑の中の一軒家だ」「了解。いってきまーす!」

【出典】 新潮 井上ひさし(著)『ブンとフン』1970 年

【BCCWJ】においては,「了解」1308 例のうち応答詞用法は 174 例である。表 2 はその形式をサブコーパスごとにまとめたものである。

表 2 BCCWJ における「了解」の応答詞用法

	出版		図書館	特定目的				計
	新聞	書籍	書籍	ベストセラー	ブログ	知恵袋	国会	
データ収録年代	2001-2005	2001-2005	1986-2005	1976-2005	2008	2005	1976-2005	
了解	2	42	42	11	19	0	0	116
了解した	0	2	4	1	4	1	0	12
了解しました	0	9	6	5	3	4	0	27
了解いたしました	0	0	1	0	2	1	1	5
了解です	0	1	0	0	10	2	0	13
了解だ	0	0	0	0	1	0	0	1
計	2	54	53	17	39	8	1	174

表 1・表 2 から次のような傾向が読み取れる。「了解」の応答詞用法は「了解」単独を基本としつつ,「了解した」「了解しました」「了解いたしました」などバリエーションが増加していく。特に 2008 年の【BCCWJ】ブログにおける「了解です」の増加が注目される。また,【BCCWJ】ブログには(12)のように「だ」がつく形式もある。

(12) んで,こっちでのバイトがまだあるらしく,その時は住む場所が無いので泊めてくれと
のことですw まあかなりお世話になっているのでね,それぐらい了解だぜ。近所付き
合いが多かった奴がもうあの部屋にはいないのだなと思うと,何ともいえない思いです。

【出典】 BCCWJ サンプル ID : OY14_47231 特定目的・ブログ 2008 年

ここまでの調査をまとめると,「了解」の応答詞用法は【青空】・【新潮】・【BCCWJ】「出版・書籍」「図書館・書籍」「特定目的・ベストセラー」といったフィクションや,【BCCWJ】ブログのようなウェブメディアに多く見られる。詳細は紙幅の都合上省略するが,前者のフィクションでの用例は SF・戦記物・推理ミステリ・ファンタジー・ライトノベルなどと呼ばれるジャンルに目立ち,対面会話のほか,無線や電話などの通信機器を媒体とする例も多

い。また、「了解」単独の応答詞用法は上下関係に関わらず用いられている。

4. 国語辞典における「了解」の記述

国語辞典における、「了解」の項の応答詞用法および待遇面に関する記述を表3にまとめる⁶。語義は、中山(2013, 2014)に倣い「意味A：理解」と「意味B：理解＋承認」に分け、さらに応答詞用法を別項とした。哲学用語としての記述は省略した。

表3 国語辞典における「了解」の記述

辞典	版	年	意味A：理解	意味B：理解＋承認	応答詞用法
国語大辞典 言泉	初	1986	①よく理解すること。また、理解して承認すること。命令や指令の伝達の際、「わかりました」の意で用いられる。諒解。『ただちに現場へ急行して下さい』『了解』		
日本国語 大辞典	2	2000- 2002	①はっきりとよくわかること。よく理解すること。また、理解して承認すること。		(なし)
明鏡国語 辞典	初	2002	①物事の意味・内容・事情などを理解すること。「話しを聞くや否やその意味を－した」「両者間には暗黙の－がある」	②理解した上で承認すること。承知・承諾すること。「雑誌社に転載の－を求め」「その件については－済みだ」	③無線通信で、通信内容を確かに受け取ったことを表す語。
新明解国 語辞典	6 7	2004 2011	①事の内容や事情が△分かる(分かって納得する)。「－を△得る(とりつける・求める)」／「－事項 ⁵ 」	②思いやって事情などを承認すること。	運用：①は、相手からの指示・命令に対して納得したことを表す返事として用いられることがある。例、『救援隊ただちに出勤せよ』『了解』
大辞林	3	2006	①事情を思いやって納得すること。理解すること。のみこむこと。了承。領解。領会。「事情を－する」「－できない」	②無線などの通信で、通信内容を受け取ったことを表す語。『ただちに行動を開始せよ』『－』	
広辞苑	6 7	2008 2018	①さとること。会得すること。また、理解して認めること。諒解。「－を求める」「暗黙の－」		(なし)
学研現代 新国語辞 典	4 5	2009 2012	①物事の筋道・事情などを、よく理解して承認すること。「上司の－を得る」		②「無線通信などの対話で」「分かった」「聞こえた」の意で使う語。
明鏡国語 辞典	2	2010	①物事の意味・内容・事情などを理解すること。「話しを聞くや否やその意味を－した」「両者間には暗黙の－がある」	②理解した上で承認すること。承知・承諾すること。「雑誌社に転載の－を求め」「その件については－済みだ」表現：近年目上の人 の依頼・希望・命令などを	③無線通信で、通信内容を確かに受け取ったことを表す語。『こちら本部、どうぞ』『－、こちら現場、どうぞ』

⁶ 応答詞用法または待遇面に関する記述のある辞典（新明解・大辞林など）については、その出現の版以降を記載した。そのような記述のない辞典（日国・広辞苑など）については最新版のみを記載した。

			承諾する意に使う向きもあるが、慣用になじまない(ぶっきらぼうで、敬意が不足)。 「分かりました」「承知しました」のほか、「承りました」「かしこまりました」などを使いたい。	
大辞泉	2	2012	①物事の内容や事情を理解して承認すること。了承。「一が成り立つ」「来信の内容を一する」[用法]了解・理解——「彼は友の言う意味をすぐに了解(理解)した」「その辺の事情は了解(理解)している」など、意味がわかる、のみ込むの意では、相通じて用いられる。◇「了解」には、相手の考えや事情をわかった上で、それを認める意がある。「暗黙の了解を得る」「お申し越しの件を了解しました」◇「理解」は、意味や意図を正しくわかる意が中心となる。「文章を理解する」「何を言っているのか理解できない」◇「了解できない」は、意味はわかるが承認できないの意になり、「理解できない」は単に意味がわからないの意になる。◇類似の語「了承」は「了解」とほぼ同じに使うが、「了解」よりも承認する意が強い。「上司の了承を得る」「双方とも大筋で了承した」	(なし)
例解新国語辞典	8	2012	事情や理由などを、よくわかってみとめること。用例：了解をえる。了解をもとめる。暗黙の了解がある。「現地へ急行せよ」「了解」。類：了承。注意：目上の人から言われたことに対しては、「了解しました」でなく「承知しました(いたしました)」とこたえる。	
三省堂国語辞典	7	2014	相手の行っている内容を理解(して承知)すること。「一をもとめる・一できない・一しました『一です』とも」	

5. マナー本における「了解」の記述

東京都内の公共図書館において、「敬語」「マナー」「ビジネスメール」などで検索してヒットした書籍 319 冊の「了解」の応答詞用法に関する記述を調査した。調査結果を表 4 にまとめる。

表 4 調査対象書籍と「了解」の記述

発行年	記述なし	非「了解は失礼」説	「了解は失礼」説	計
～2002	49	0	0	49
2003	6	2	0	8
2004	6	0	1	7
2005	10	3	1	14
2006	16	2	3	21
2007	18	2	0	20
2008	16	6	4	26

2009	19	2	2	23
2010	19	4	4	27
2011	6	1	5	12
2012	16	2	7	25
2013	13	4	10	27
2014	13	0	3	16
2015	8	0	5	13
2016	7	0	2	9
2017	12	0	6	18
2018	1	0	3	4
計	235	28	56	319

今回の調査範囲では、2002 年までは「了解」に関する記述は見当たらない。2003 年以降数年間は、「了解」の使用を良い例として紹介する“非「了解は失礼」説”と、「承知しました」「かしこまりました」などに言い換えるべきであるとする“「了解は失礼」説”が拮抗する。そして、“「了解は失礼」説”の優位が確定するのが 2011 年であり、これは菊地(2016)の指摘するウェブメディア隆盛期と軌を一にする。そして 2014 年以降、“非「了解は失礼」説”は姿を消す。

「了解は失礼」説の根拠は、(13)のようにまとめられる⁷。

- (13) a. 相手への尊敬の意がない、丁寧さが不足、など敬語として不適切だから：22 冊。
b. 上から目線の言葉だから：12 冊。うち a.d.各 1 冊,c.4 冊と重複。
c. 理解し承認するという意味だから：7 冊。うち b.4 冊,f.1 冊と重複。
d. 軍隊・警察のイメージ：3 冊。
e. 事務的だから：3 冊。すべて a.と重複。
f. 簡略で軽い感じだから：3 冊。うち a 2 冊,c 1 冊と重複。
g. カジュアル・くだけた表現だから：2 冊。
h. メール語だから：2 冊。

最も多く挙げられているのは、(13a)「了解」が敬語でないという点であり、これが(13e)事務的、(13f)簡略・軽い、という受けとめ方にもつながっている。目上の相手に対しては、より重厚な敬語表現が適切である、とする主張のようである。第 1 節で引用した(4)は(13a)の、(5)は(13b)および(13c)の例である。

(13d)の軍隊・警察のイメージは、3 節でみた SF の戦隊ものや推理ミステリでの多用と関連するかもしれない。加えて、アニメやゲームなどにおいても同様の傾向が指摘できそうであるが、論証は今後の課題である。ただし、軍隊・戦隊もの、警察もののすべてに「了解」が多用されているわけではない。【戦時】には軍隊生活を描いた作品もあるが用例は見出せない。また、目視の調査であるが、松本(1971)、鎌田(1989)、手塚(2007)にも該当例はない。松本(1971)

⁷ 1 冊で複数の根拠を挙げるものもあれば、根拠が示されていないものもあるので、合計数は「失礼」説 56 冊とは一致しない。

は刑事を主人公とする推理小説で、雑誌初出は 1957-58 年である。手塚(2007)は戦時下を描いた作品集で、収録作品 7 本の初出は 1968-79 年である。鎌田(1989)は刑事ドラマのシナリオ集で、収録作品 8 本の放映日は 1973-79 年である。

(13g)カジュアル・くだけた表現というイメージの由来は明らかでないが、(13f)簡略・軽い、(13h)メール語という点とあるいは関連するかもしれない。直接「失礼」である根拠とした 2 冊を含め、「了解」が若者のメールに多用されていることに触れている書籍は少なくない。また、今回の調査範囲の書籍には言及はないが、若者のメールや SNS では「了解」の短縮語である「り(ょ)」なども多用され、顔文字やスタンプなどもあるという。今後の調査課題である。

6. 暫定的考察と課題

「了解」の応答詞用法と無線用語「了解」の関わりはまず間違いないだろう。現代より相当劣悪であった通信状況のもとでは、待遇的配慮よりも、緊急かつ重要な指令が無事受信されたことを手短かに伝える効率性が優先されたのは当然である。Brown & Levinson(1987)のポライトネス理論においても、「オン・レコードであからさまに(Bald on record)」言語行為が行われる場面として、重大な緊急事態や、チャネル・ノイズなどが原因で最大限の効率を優先しなければならないようなケースを挙げている(田中監訳 2011, pp.124-127)。

やがて、電話や対面会話などにも「了解」が用いられ、効率性だけでなく待遇的配慮も必要とされるようになり、「了解しました」「了解いたしました」などが出現した。これらとの比較により、単独の「了解」が「乱暴でぶっきらぼう」(『明鏡国語辞典第二版』2010, 梅津 2012 など)という印象を与えるようになってしまったのかもしれない。ただし、これら派生形式の用例数は「了解」単独の用法を越えるには至っていない。

一方、「了解です」は用例数をかなり伸ばしている。これは、「です」の勢力拡大(井上 1998, 1999, 2007)、ニュースやブログなどにおける「動名詞+です」の多用(田中 2012, 鈴木 2010, 2011, 2012)、日本語の名詞指向性(新屋 2014)などと関わる現象の一端ではないかと思われる。

ただし、「です」は幼稚・舌足らずとの印象を免れていない。文化庁(1950)で認められた形容詞述語文にも違和感の声は消えていない。「なるほどですね」という相づちにも疑問の声があがっている。「了解です」への抵抗感が、「了解は失礼」説の出現の一因となった可能性もあるのではないか。

以上は、今回の調査結果を踏まえた暫定的考察であるが、まだ論証できていない推測の部分もある。今後、ウェブや SNS の用例、アニメ、ゲームなど、さらに調査を進めたい。

謝 辞

無線用語についてご教示くださった日本アマチュア無線連盟、ウェブや SNS についてご教示くださったインフォーマント諸氏に感謝申し上げます。

文 献

Brown, Penelope and S. C. Levinson (1987). *Politeness: Some Universals in Language Usage*.

Cambridge University Press. 田中典子監訳(2011).『ポライトネス：言語使用における、ある普遍現象』研究社

飯間浩明(2016).『「了解いたしました」は失礼なことばではない』

https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/status/741895366618927104/photo/1

国立国語研究所「よくある『ことば』の質問」(2012).『「了解しました。」は敬意表現になら

- ないか」 <http://pj.ninjal.ac.jp/QandA/vocabulary/ryokai/>
- 井上史雄(1998).『日本語ウォッチング』岩波新書
- 井上史雄(1999).『敬語はこわくないー最新用例と基礎知識』講談社現代新書
- 井上史雄(2017).『新・敬語論：なぜ「乱れる」のか』NHK 出版
- 梅津正樹(2012).『敬語のレッスン』創元社
- 梅津正樹(2013).『知らずに使っている実は非常識な日本語』アスコム
- 鎌田敏夫(1989).『ボスー太陽にほえろ！傑作選』立風書房
- 菊池良(2016).『「了解しました」より「承知しました」が適切とされる理由と、その普及過程について』<https://liginc.co.jp/246919>
- 現代日本語研究会(2004).『戦時中の話しことば』ひつじ書房
- 現代日本語研究会(2011).『合本 女性のことば・男性のことば（職場編）』ひつじ書房
- 現代日本語研究会(2016).『談話資料 日常生活のことば』ひつじ書房
- 新潮社(1995).『CD-ROM 版 新潮文庫の 100 冊』
- 新屋映子(2014).『日本語の名詞指向性の研究』ひつじ書房
- 鈴木智美(2010).「ニュース報道における『{動名詞(VN)/感動詞相当句}+です』文についてー『現地を緊急取材です』『老舗料亭に問題発覚です』ー」『東京外国語大学留学生日本語教育論集』第 36 号, pp.57-70.
(http://repository.tufts.ac.jp/bitstream/10108/57678/2/jlc036005_ful.pdf よりダウンロード可能)
- 鈴木智美(2011).「ブログ等に見られる『{動名詞(VN)/感動詞相当句}+です』文についてー『～に感謝です』『～をよろしくです』の意味・機能ー」『東京外国語大学留学生日本語教育論集』第 37 号, pp.15-28.
(http://repository.tufts.ac.jp/bitstream/10108/63375/2/jlc037002_ful.pdf よりダウンロード可能)
- 鈴木智美(2012).「ニュース報道およびブログ等に見られる『～です』文の意味・機能～『～を徹底取材です』『～に期待です』『～をよろしくです』～」『東京外国語大学論集』第 84 号, pp.341-357.
(http://repository.tufts.ac.jp/bitstream/10108/70857/2/acs084017_ful.pdf よりダウンロード可能)
- 田中伊式(2012).「ニュース報道における『名詞+です』表現について～『イチロー選手が電撃移籍です』『尖閣諸島で新たな動きです』～」NHK 放送文化研究所『放送研究と調査』62:10, pp.16-29.
(http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/research/report/2012_10/20121002.pdf よりダウンロード可能)
- 手塚治虫(2007).『「戦争漫画」傑作選』祥伝社
- 中山健一(2013).「「了解」の意味の変遷ー19 世紀末から現代にかけてー」『国立国語研究所 第 3 回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』pp.169-178.
(https://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/files/JCLWorkshop_no3_papers/JCLWorkshop_No3_22.pdf よりダウンロード可能)
- 中山健一(2014).「漢語「了解」の意味変化ー太陽コーパスの分析を中心にー」『茨城キリスト教大学紀要』48, pp.1-14.
(https://ic.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=353&item_no=1&page_id=25&block_id=38 よりダウンロード可能)
- 野村恵理奈(2011).『たった 5 秒で相手の心をつかむ一言の力』大和書房
- 文化庁(1950).『これからの敬語』

http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kakuki/01/tosin06/index.html

松本清張(1971).『点と線』新潮文庫

真鍋宏史(2014).「了解は失礼か?」

<http://d.hatena.ne.jp/takeda25/20140209/1391937000>

辞 典

見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大(編)(2014)『三省堂国語辞典 第七版』三省堂

北原保雄(編)(2002)『明鏡国語辞典 初版』大修館書店

北原保雄(編)(2010)『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店

金田一春彦・金田一秀穂(編)(2009)『学研現代新国語辞典 第四版』学習研究社

金田一春彦・金田一秀穂(編)(2012)『学研現代新国語辞典 第五版』学習研究社

尚学図書(編)(1986)『国語大辞典 言泉』小学館

林四郎(監修)(2012)『例解新国語辞典 第八版』三省堂

松村明(編)(2006)『大辞林 第三版』三省堂

松村明(監修)(2012)『大辞泉 第二版』小学館

日本国語大辞典第二版編集委員会(2000-02)『日本国語大辞典 第二版』小学館

新村出(編)(2008)『広辞苑 第六版』岩波書店

新村出(編)(2018)『広辞苑 第七版』岩波書店

山田忠雄・柴田武・倉持保男・山田明雄・酒井憲二(編)(2004)『新明解国語辞典 第六版』三省堂

山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄・上野善道・井島正博・笹原宏之(編)(2011)『新明解国語辞典 第七版』三省堂

JapanKnowledge <https://japanknowledge.com/>

関連 URL

コーパス検索アプリケーション『中納言』 <https://chunagon.ninjal.ac.jp/>

国立国語研究所「言語データベースとソフトウェア」

<http://www2.ninjal.ac.jp/lrc/index.php?%B8%C0%B8%EC%A5%C7%A1%BC%A5%BF%A5%D9%A1%BC%A5%B9%A4%C8%A5%BD%A5%D5%A5%C8%A5%A6%A5%A7%A5%A2>

総務省「電波法無線局運用規則」

http://www.tele.soumu.go.jp/horei/reiki_honbun/a723930001.html

電気通信主任技術者総合情報「無線電信法」

<http://asaseno.aki.gs/houki/musendenshinhou.html>